

平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年1月26日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 太陽工機
 コード番号 6164 URL <http://taiyokoki.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 渡辺 登
 (氏名) 牛尾 滋昭

TEL 0258-42-8808

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	791	△85.2	△1,102	—	△1,121	—	△1,252	—
21年3月期第3四半期	5,341	—	809	—	794	—	451	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△429.68	—
21年3月期第3四半期	151.88	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	2,975	1,377	45.8	469.13
21年3月期	3,803	2,672	70.1	913.72

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 1,363百万円 21年3月期 2,665百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
22年3月期	—	0.00	—		
22年3月期 (予想)				0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,500	△78.9	△1,300	—	△1,300	—	△1,600	—	△548.76

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	2,978,200株	21年3月期	2,978,200株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	70,776株	21年3月期	61,376株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第3四半期	2,915,690株	21年3月期第3四半期	2,975,586株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当社を取り巻く経営環境は、新興国を中心とした世界経済の回復に伴い、一部では改善の兆しが見られるものの、国内外における設備投資需要の回復には、依然として長期を要する見通しであります。

このような環境の中、当社の受注及び引合状況につきましても影響は避けられず、前年の実績に比べ低水準に推移しております。このような状況下におきましても、当社は顧客のニーズに合った製品開発と生産効率の向上につながる提案に努め、既存取引先の需要発掘及び国内外の新規顧客の開拓・販路拡大に向けた施策を着実に実行してまいりました。特に、海外での受注活動につきましては、アメリカに続き、当事業年度より中国、フランスにも営業及びエンジニアを配置し、増加傾向にある海外需要へ迅速に対応できる体制を整えました。また、昨年7月に続き、11月にも本社工場におきまして、太陽工機プライベートショーを開催いたしました。中型ベアリング向けの高度複合加工を実現した新開発機種N VGH-5 TBSをラインナップに加え、当社の技術力を大いにアピールいたしました。このような施策が効を奏し、第2四半期末から当第3四半期にかけて、受注及び引合状況は着実に回復してまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の受注高は1,266,055千円(前年同期比73.4%減)、売上高は791,141千円(前年同期比85.2%減)、営業損失1,102,593千円(前年同期は809,829千円の利益)、経常損失1,121,625千円(前年同期は794,910千円の利益)、四半期純損失1,252,811千円(前年同期は451,938千円の利益)となりました。

当第3四半期累計期間の営業状況の概要は以下のとおりであります。

[受注]

受注につきましては、独自のマーケティング活動に基づき、顧客ニーズをとらえた製品を開発投入し、冷え込む市場の開拓に尽力しております。そうした活動により、当第3四半期累計期間の受注高は、1,266,055千円(前年同期比73.4%減)となりました。うち当社主力機種である立形研削盤は960,365千円(前年同期比74.6%減)、横形研削盤は250,449千円(前年同期比49.5%減)、その他専用研削盤は55,240千円(前年同期比88.7%減)となりました。

なお、当第3四半期会計期間(10月～12月)の受注高は、高水準に推移していた前年同期に比べては低い水準にあるものの、第2四半期会計期間(7月～9月)との対比では59.3%増と、足許の受注は着実に回復しております。

[売上]

売上高につきましては、前事業年度後半から当事業年度第2四半期までの受注低迷が影響し、当第3四半期累計期間の売上高は791,141千円(前年同期比85.2%減)となりました。品目別に示すと、立形研削盤は690,358千円(前年同期比82.9%減)、横形研削盤は70,263千円(前年同期比88.8%減)、その他専用研削盤は30,519千円(前年同期比95.4%減)となっております。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期末の流動資産は前事業年度末に比べて1,728,080千円減少し、1,445,366千円となりました。これは主に現金及び預金が997,183千円、売掛金が991,803千円、原材料及び貯蔵品が53,637千円減少したこと、仕掛品が257,758千円増加したことによるものです。

(固定資産)

当第3四半期末の固定資産は前事業年度末に比べて900,109千円増加し、1,530,354千円となりました。これは主に有形固定資産が919,900千円増加したことによるものです。

(流動負債)

当第3四半期末の流動負債は前事業年度末に比べて520,517千円減少し、605,106千円となりました。これは主に短期借入金が198,000千円、未払法人税等が288,279千円、製品保証引当金が84,673千円、役員賞与引当金が25,169千円減少したこと、買掛金が55,659千円増加したことによるものです。

(固定負債)

当第3四半期末の固定負債は前事業年度末に比べて987,713千円増加し、993,096千円となりました。これは主にリース債務が924,258千円増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期末の純資産は前事業年度末に比べて1,295,166千円減少し、1,377,517千円となりました。これは利益剰余金が1,296,563千円減少したこと、新株予約権が6,037千円増加したことによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前事業年度末に比べて954,183千円減少し、187,747千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、資金は709,181千円の減少となりました。これは主に税引前四半期純損失1,124,870千円、役員賞与引当金の減少25,169千円、製品保証引当金の減少84,673千円、たな卸資産の増加185,551千円、未収消費税等の増加161,470千円、未払消費税等の減少40,824千円、未払金の減少7,543千円、利息の支払29,006千円、法人税等の支払297,031千円による資金減少要因と、減価償却費93,480千円、減損損失4,480千円、売上債権の減少991,803千円、仕入債務の増加55,659千円、未払費用の増加5,941千円による資金増加要因によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、資金は32,779千円の増加となりました。これは主に定期積金の減少43,000千円による資金増加要因と、有形固定資産の取得5,522千円、無形固定資産の取得4,625千円による資金減少要因によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、資金は277,781千円の減少となりました。これは主に短期借入金の返済198,000千円、自己株式の取得による支出4,640千円、リース債務の返済30,730千円、配当金の支払43,567千円の資金減少要因によるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

当社を取り巻く経済環境は、工作機械需要の落ち込みにより厳しい状況にあります。本日公表しました早期退職優遇制度の実施に伴う退職一時金の支払いなどの事業構造改革費用を特別損失に計上する影響により、当期純利益が計画を下回る見込みであります。

以上の理由から、下記のとおり平成22年3月期通期業績予想を修正いたします。

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回発表予想(A)	1,500	△1,300	△1,300	△1,400	△479円97銭
今回修正予想(B)	1,500	△1,300	△1,300	△1,600	△548円76銭
増減額(B-A)	—	—	—	△200	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	7,106	1,010	990	554	186円71銭

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	269,747	1,266,931
売掛金	72,932	1,064,735
製品	—	22,716
仕掛品	709,920	452,162
原材料及び貯蔵品	177,068	230,705
その他	216,697	138,431
貸倒引当金	△1,000	△2,236
流動資産合計	1,445,366	3,173,446
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,004,840	70,985
土地	356,336	357,617
その他(純額)	112,551	125,225
有形固定資産合計	1,473,728	553,828
無形固定資産	37,702	44,228
投資その他の資産	18,923	32,188
固定資産合計	1,530,354	630,245
資産合計	2,975,720	3,803,691
負債の部		
流動負債		
買掛金	103,979	48,320
短期借入金	300,000	498,000
未払法人税等	3,171	291,451
役員賞与引当金	—	25,169
製品保証引当金	23,134	107,807
その他	174,821	154,877
流動負債合計	605,106	1,125,624
固定負債		
リース債務	929,640	5,382
その他	63,455	—
固定負債合計	993,096	5,382
負債合計	1,598,203	1,131,007
純資産の部		
株主資本		
資本金	700,328	700,328
資本剰余金	637,828	637,828
利益剰余金	85,487	1,382,051
自己株式	△59,682	△55,041
株主資本合計	1,363,962	2,665,167
新株予約権	13,555	7,517
純資産合計	1,377,517	2,672,684
負債純資産合計	2,975,720	3,803,691

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	5,341,683	791,141
売上原価	3,822,485	1,003,040
売上総利益又は売上総損失(△)	1,519,197	△211,898
販売費及び一般管理費	709,367	890,694
営業利益又は営業損失(△)	809,829	△1,102,593
営業外収益		
受取利息	708	497
助成金収入	2,472	25,004
受取手数料	1,313	—
その他	1,132	1,906
営業外収益合計	5,628	27,407
営業外費用		
支払利息	6,488	29,189
売上割引	3,005	1,433
支払手数料	7,395	8,632
その他	3,657	7,184
営業外費用合計	20,548	46,440
経常利益又は経常損失(△)	794,910	△1,121,625
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,564	1,236
特別利益合計	2,564	1,236
特別損失		
リース解約損	57	—
減損損失	—	4,480
特別損失合計	57	4,480
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	797,416	△1,124,870
法人税、住民税及び事業税	338,322	5,074
過年度法人税等	—	10,000
法人税等調整額	7,155	112,866
法人税等合計	345,477	127,941
四半期純利益又は四半期純損失(△)	451,938	△1,252,811

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	797,416	△1,124,870
減価償却費	46,399	93,480
減損損失	—	4,480
受取利息	△708	△497
支払利息	6,488	29,189
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,564	△1,236
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△25,169
製品保証引当金の増減額(△は減少)	8,420	△84,673
売上債権の増減額(△は増加)	737,101	991,803
たな卸資産の増減額(△は増加)	△425,538	△185,551
仕入債務の増減額(△は減少)	11,636	55,659
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	△161,470
未払消費税等の増減額(△は減少)	△24,166	△40,824
未払金の増減額(△は減少)	△11,806	△7,543
未払費用の増減額(△は減少)	12,436	5,941
その他	△53,524	67,640
小計	1,101,589	△383,639
利息の受取額	708	497
利息の支払額	△6,454	△29,006
法人税等の支払額	△389,411	△297,031
営業活動によるキャッシュ・フロー	706,432	△709,181
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期積金の純増減額	△1,500	43,000
有形固定資産の取得による支出	△42,813	△5,522
無形固定資産の取得による支出	△40,806	△4,625
その他	△567	△72
投資活動によるキャッシュ・フロー	△85,687	32,779
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△198,000	△198,000
自己株式の取得による支出	△6,777	△4,640
リース債務の返済による支出	△91	△30,730
配当金の支払額	△44,288	△43,567
その他	△622	△842
財務活動によるキャッシュ・フロー	△249,779	△277,781
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	370,965	△954,183
現金及び現金同等物の期首残高	299,836	1,141,931
現金及び現金同等物の四半期末残高	670,802	187,747

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。